

	号外	定価 1部2円	職場実態を把握し 人員の適正配置を 要求するため、分会 基礎調査の実施に ご協力をお願いい たします。
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁12階 岩手県職員労働組合	

4. 22総務部長及び人事課総括課長着任交渉

総務部長「今後も誠意を持って対応」

人員確保 業務量に見合った人員確保及び欠員解消を 賃金改善 勤務意欲確保のため全世代の賃金改善を



総務部長及び人事課総括課長との着任交渉に臨む県職労交渉団

4月22日、県職労は今年度着任した福田 直総務部長及び畠山 直人事課総括課長と交渉を行い、基本姿勢やこれまでの継続課題について見解を質しました。

福田総務部長は、「職員の給与、勤務時間その他の勤務条件の変更

や決定は、これまで皆さんと十分に協議を行い、可能な限り理解と協力を得ながら行ってきたものと承知している。今後も誠意を持って対応していきたい。」との基本姿勢を示しました。主な課題に対する交渉結果は次のとおりです。

○人員確保対策について

《県 職 労》人員不足解消に向けた職員体制の確保について、基本姿勢を確認したい。

【総務部長】これまで、新規職員採用数の大幅な拡大、任期付職員や非常勤職員などの採用のほか、獣医師や土木職等の専門職について、都道府県等職務経験者選考採用などの取り組みを行ってきた。

また、B区分（民間経験者等）について試験方法や採用方法、年齢要件の見直しを行ったほか、勤務地を限定したエリア採用等も新たに実施する等の取組も行い、受験者の確保及び職員体制の確保に向けた取組を行っている。

《県 職 労》今年3月の人事課総括課長交渉において、技術職は欠員が生じる見込みである一方、事務職については欠員が生じない見込みであると伺った。

しかしながら、人事異動内示後の急な退職等で事務職も欠員が生じている。欠員解消を確実に行うためには、欠員状況及び欠員の解消状況を把握する必要があるため、4月時点での欠員数を報告いただきたい。



回答する福田総務部長



職場課題を質す
福土中執

○賃金・諸手当等の改善、旅費制度について

《県 職 労》賃金水準引上げの基本姿勢、勤務意欲確保に向けた基本姿勢を確認したい。

【総務部長】給与水準の改定に当たっては、人事委員会勧告を最大限尊重しており、今後もその姿勢に変わりはない。また、職員全体の勤務意欲確保は重要であると認識している。勤務意欲確保に向け、県職労と意見交換をしつつ取り組んでいきたい。

《県 職 労》原油高や物価高騰による自己負担も非常に多くなっている。諸手当改善の基本姿勢についても確認したい。また、旅費制度について考えを伺いたい。

【総務部長】条例事項や公民較差の算定に含まれる手当については、人事委員会とも意見交換のうえ、改定にかかる対応を検討していく。また旅費制度については、本県の実情等を踏まえ丁寧に検討している一方、宿泊料については料金の高騰を踏まえた運用とする等、職員の自己負担防止に努めている。

○適正な勤務時間管理の徹底・超過勤務手当の支給について

《県 職 労》勤務間インターバル制度について、本来の運用にそぐわない実態や、制度自体が十分に浸透していない実態が見られる。また、依然として不払い残業も報告されている。このことについて、見解を伺いたい。

【総務部長】勤務間インターバル制度については、研修会を開催し、適切な運用について周知を図ることとしている。また、不払い残業はあってはならないものであり、今年度も当初予算を確保しているほか、職員一人ひとりの業務量を適切に管理したうえで、必要な予算の確保に努めていく。



旅費制度の課題を質す
須藤中執

○60歳超の常勤職員及び暫定再任用職員について

《県 職 労》業務量に見合わないばかりか、生計の維持にも差し支える賃金水準であるなど、勤務意欲の確保が問題となっている。65歳までしっかり働ける職場環境と労働条件の整備について、見解を伺いたい。

【総務部長】アンケートを実施した結果、業務量や業務内容について配慮を求める声が数多くあり、結果を踏まえ職位や給与を決定しているものであるが、今後もアンケートやヒアリング等などにより、ニーズを把握しながら丁寧に対応していきたい。

○会計年度任用職員について

《県 職 労》任用予算が抑制され、雇用不安を抱えながら勤務している実態がある。また、今年度末で廃職検討を言い渡されている職もあり、残された職員への負担増は必至である。このことについて見解を伺いたい。

【総務部長】公務の運営は常勤職員を中心として行うことを基本としたうえで、業務の状況を適切に把握しながら、会計年度任用職員を含めた適正な人員の確保に努めていく。

その他、障がい者雇用、公舎、機械警備導入にかかる諸課題について交渉し、改善を求めました。



人員確保を求める
佐々木副委員長